様式３

第２８回　全国街路事業コンクール応募資料

平成２７年１１月

応募者名：秋田県建設部都市計画課

事業の名称：仙北都市計画道路事業3･4･9号横町線

実施都市名：秋田県仙北市角館町

事　業　目　的

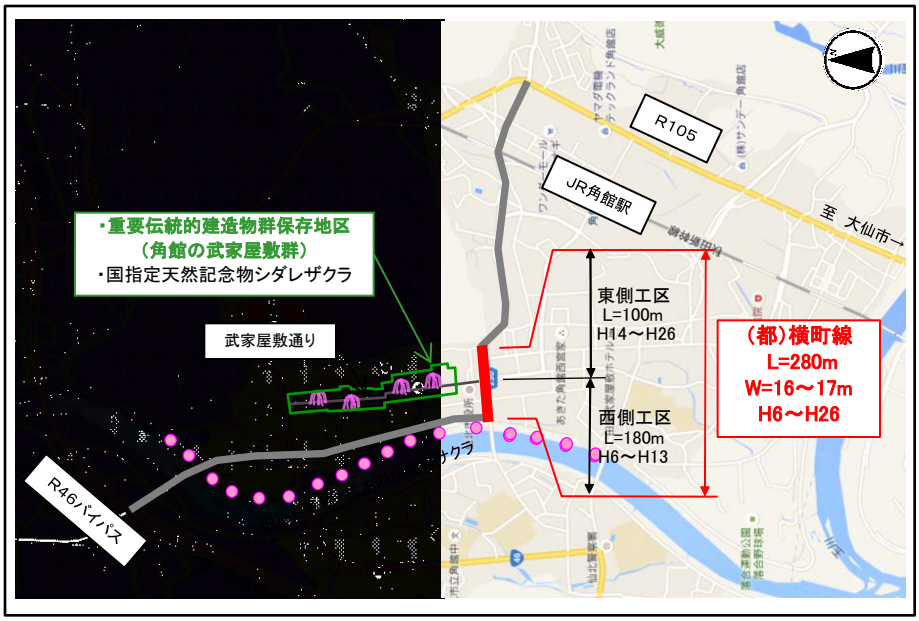
　角館は「みちのくの小京都」と呼ばれ、武家屋敷（重要伝統的建造物群保存地区）、国指定天然記念物のシダレザクラ、国指定名勝の桧木内川堤サクラなど、東北ではもちろんのこと、全国でも有数の観光地として知られている。
　都市計画道路横町線は、市街地環状道路に位置付けられ、観光ルートとしての機能を有するほか、生活道路としても重要な路線であるが、幅員が狭く、歩道も未整備であったため、観光客や地域住民の安全確保が必要となっていた。
　そのため、①観光地へのアクセス性向上、②安全で快適な歩行空間の確保、　③武家屋敷通りへの通過交通の流入抑制による観光地の環境改善を目的に整備を行ったものである。

事　業　概　要

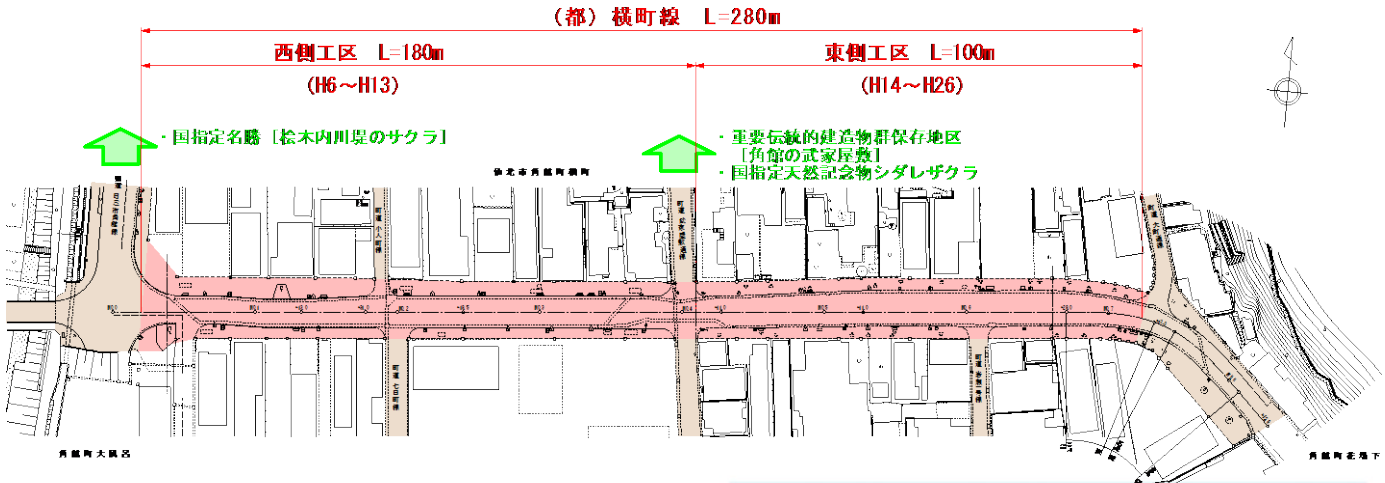
事 業 名 称：仙北都市計画道路事業
　路 線 名　：３・４・９号横町線
事 業 箇 所：秋田県仙北市角館町
事 業 延 長：Ｌ＝２８０ｍ
　幅　　員　：Ｗ＝１６～１７ｍ
事　業　費：約３３億円
事業実施期間：平成６年度～平成２６年度

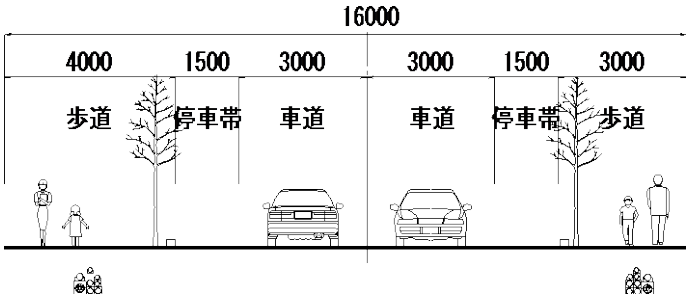
　本事業は、伝統的な角館らしい街並みに配慮し、無電柱化及び県産材である男鹿石を使った自然石歩道舗装、デザイン照明灯などの修景整備を行うとともに、通学路や観光客の冬期歩行導線を確保するため歩道融雪施設（地下水利用による無散水方式）を整備した。
　また、沿線に存在した国指定天然記念物の「シダレザクラ」保存のため、道路線形と幅員構成を見直し、シダレザクラの生育環境の確保と道路空間の確保を両立させ、道路沿道環境の保全を図った。

事　業　位　置　図



全体図（平面図・側面図・横断図）





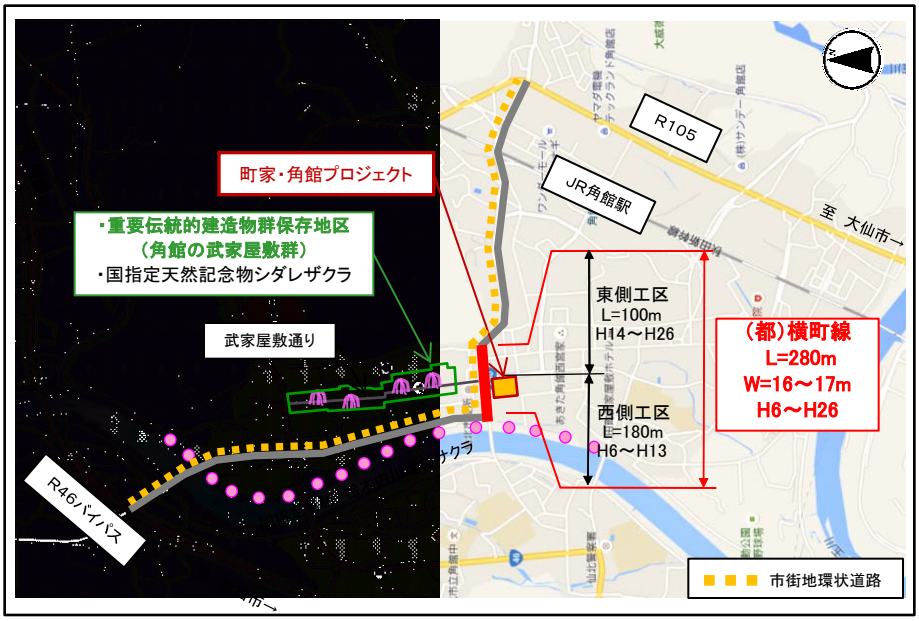
横町線の整備効果アピール資料

○事業概要

事　業　名：仙北都市計画道路事業
路　線　名：３・４・９号横町線
事業箇所：秋田県仙北市角館町
事業延長：Ｌ＝２８０ｍ
幅　　員：Ｗ＝１６ｍ
総事業費：約３３億円
事業期間：Ｈ６～Ｈ２６

○交通量調査結果

整備前（H6）　2,700台/12h
西側工区供用（H14）　5,840台/12h
東側工区供用（H26）　5,120台/12h



整備効果１

・市街地環状道路の整備により、通過交通の流入が抑制されたことで武家屋敷通りが歩行者優先の道となり、**観光地の環境が大きく改善！**また、車の排気ガスや振動等から歴史的環境（武家屋敷や国指定天然記念物のシダレザクラ等）を保全

武家屋敷通に通過交通が流入。車と観光客が混在し、観光地に相応しくない状態。

多くの観光客が訪れる桜祭り期間中は、武家屋敷通を歩行者専用に解放。

歩行者優先の道となり、観光地を安心して散策できる環境に。

整備効果２

・**観光商業地リノベーションに貢献！**建物の意匠の統一、無電柱化により「みちのくの小京都」角館にふさわしい町並みが形成。沿線には民間主導の新たな**複合拠点施設も誕生！**

歩道には県産材の男鹿石を使用した自然石舗装を採用

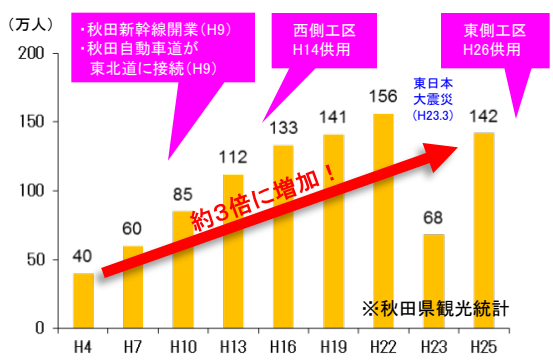
「町家・角館プロジェクト」始動！

H28年春には「町家ホテル」も完成予定

整備効果３

・国道４６号等やＪＲ角館駅から「武家屋敷」「桧木内川堤の桜」などの観光資源へのアクセスが向上。**観光客数の増加に貢献！**

観光客入込み数の推移（桜まつり期間中）



事　業　前　写　真

昭和63年5月撮影

平成6年7月撮影

平成15年6月撮影

昭和63年4月撮影

桜まつり期間中は車と観光客が混在し、観光客の安全確保が困難であった。

事　業　後　写　真

平成27年9月撮影

国指定天然記念物の「シダレザクラ」を歩道空間に取り込み、歴史的景観を保全。

平成27年9月撮影

平成27年9月撮影

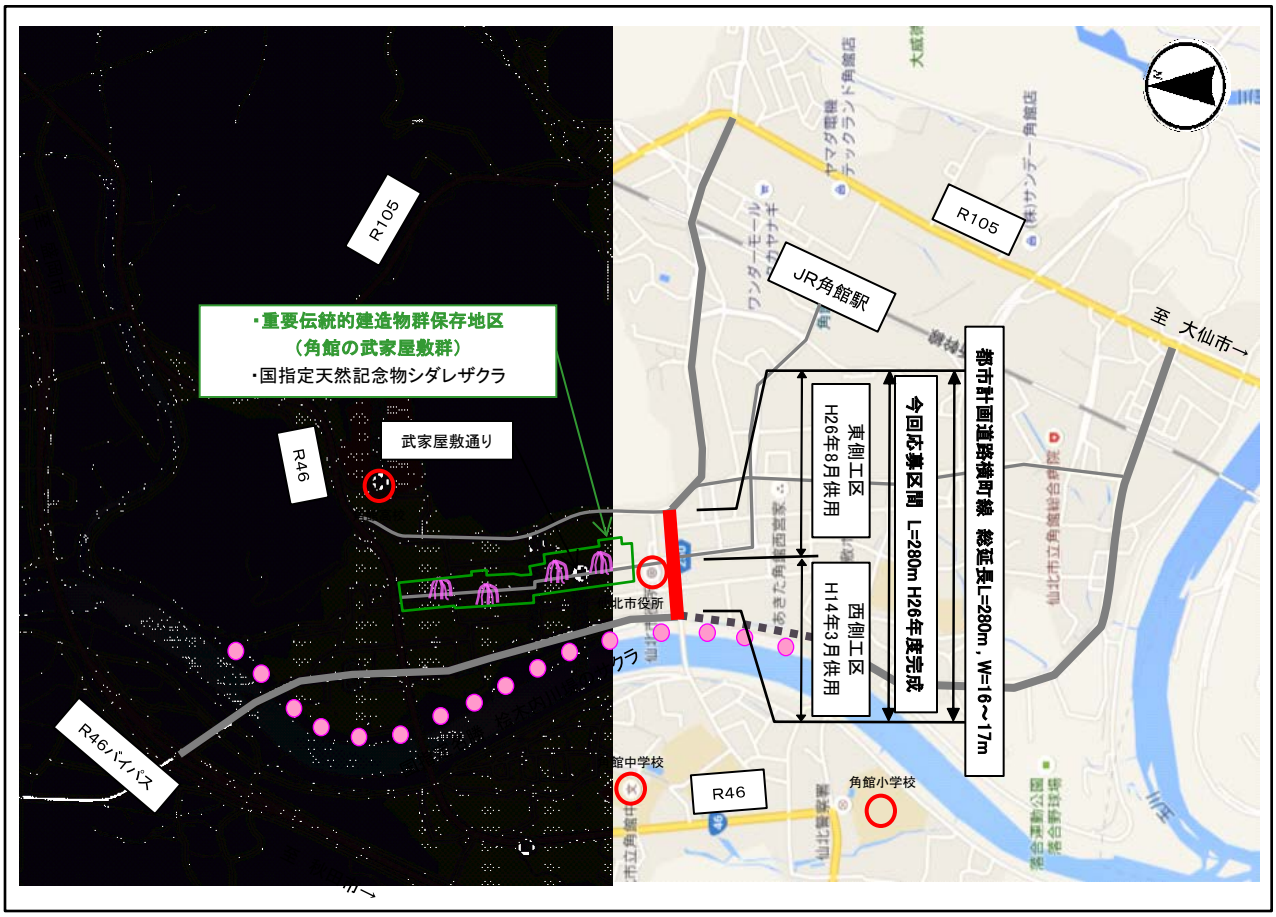
平成25年4月撮影

安全で快適な歩行空間が整備され、観光地の環境が改善。

地元と景観協定を締結したことで、沿線の建物は白と黒を基調とした町家風の意匠に統一。

路　線　全　体　の　進　捗　状　況

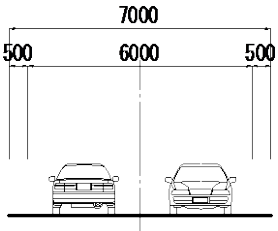
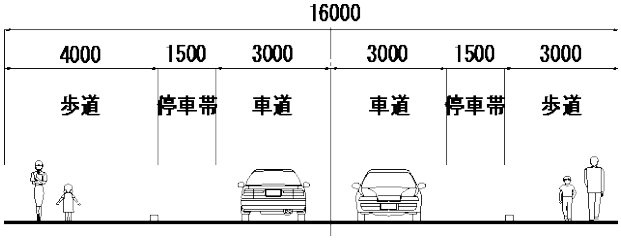
都市計画道路　横町線



凡　例

今回応募区間

整備前



整備後